



防衛力の抜本的強化

- 戦後で最も厳しく複雑な安全保障環境に対応し、将来にわたりわが国を守り抜くため、防衛力を今後5年間で抜本的に強化します。防衛関係費の財源確保については、国民負担を最小限にする視点から、あらゆる方策を検討してまいります。
- 装備品の可動率向上や弾薬確保など、現有装備品を最大限活用するための投資を加速するとともに、わが国への侵攻を抑止するため、スタンド・オフ防衛能力等を活用した反撃能力を保有します。

領土・領海・領空、主権問題への取組み強化

- 尖閣諸島周辺での中国海警船の活動をはじめ、外国海洋調査船の活動、大和堆周辺等での外国漁船の違法操業等を踏まえ、海上保安体制を計画的かつ抜本的に強化します。
- わが国の領土・領海・領空、主権、歴史等に関する情報収集や調査・研究を強化するとともに、戦略的対外発信を強化します。



6 憲法改正を 早期に実現します

「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義」という
日本国憲法の三大原理を維持しつつ、
時代や社会の変化に応じた憲法改正を目指します。

- 自民党は現在、改正の条文イメージとして、①自衛隊の明記、②緊急事態対応、③合区解消・地方公共団体、④教育充実の4項目を提示しています。国民の皆様幅広いご理解を得るため、全国各地で対話集会などを積極的に開催し、憲法改正の必要性を丁寧に説明していきます。
- 憲法改正原案の国会提案・発議を行い、主権者である国民の皆様が主体的に意思表示する国民投票を実施し、「日本国憲法」の改正を早期に実現します。